

イチノセシヲ



エ
ン
チ
...

は
い
で
か
い
る。

ぜ
ん
ぶ

腕

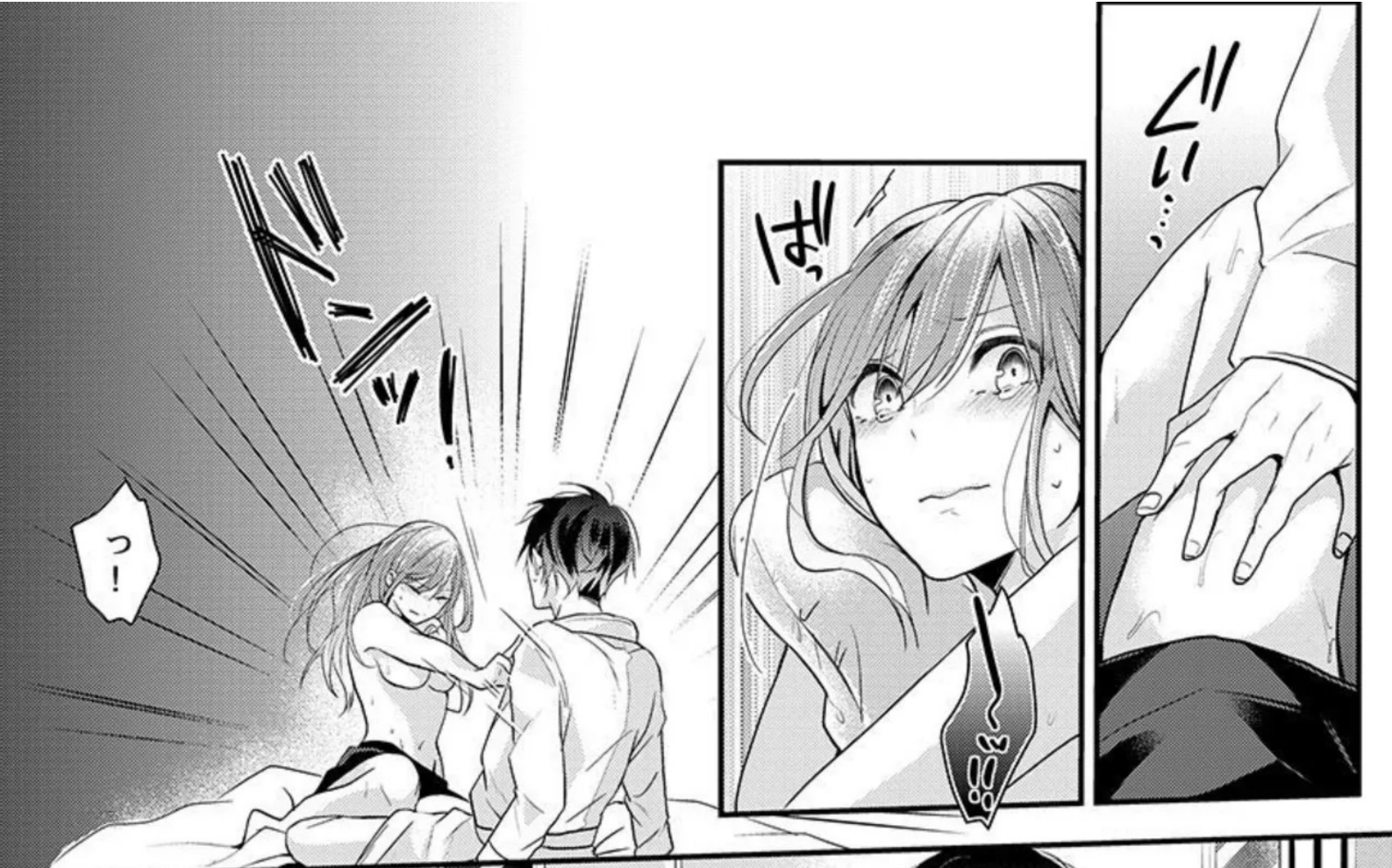
か
な
よ
た
い
で

2



ぜんぶ脱がなくなったら、
エッチはできる

第 2 話





…明日会社
行きたくないなあ…



なんで…
最低…っ!

なんで…っ!?
どうして先輩
あんなこと…



なのに
なんで…

まだドキドキ
してるんだろう…



あっ
杉浦さん!



おはよう
ございます…

モヤモヤして
結局あんまり
寝れなかった…



しまなみ
編み物





考えがあるから
任せとけて

な！

はは…
はい…



確かに本当は社員旅行
参加したかったけど…

もし傷が
見られちゃったら…



流されるまま
はいつて言っちゃったな…



すごしくらい
信じてみても
いいのかな…

助かるかも



…でも

先輩口は悪いけど
根はまじめだし

嘘をつくタイプの
人じゃない…

ニニニ
おーおー



ついに社員旅行
当日を迎えてしまったけど...

これは庄巻...



昨日はもしかしたら
傷見られるかも
って不安と

楽しみな気持ち
が混ざり合って
全然寝れなかった...

...先輩は



任せとけ
なんて言ってる...

結局どうするのか
何も聞けないまま
当日迎えちゃったけど...

大丈夫かな...





まさか個室に
シャワーが無いなんて…!!

どーしよー

この時間帯はみんな
大浴場にいるだろうし…

おい
杉浦

この旅館
個室に内風呂ないだろ

先輩…!

貸切風呂
予約しといたから

今のうちに
行ってこい

ありがとう
ございます!

おう

時間制だから
ちやっっちゃと行けよ

はい!





貸切風呂の予約
までしてくれて…

…先輩、ちゃんと
私のこと考えて
くれてたんだな…



はあ…

こんな広いお風呂
貸切だなんて贅沢だなあ…

かほいん



強引だし
ガサツだし

あんなコトも
あつたけど…

ふとふと…

何故か
憎めないんだよね…

ふとふと…



貸切の
はずじゃ…!?



え…
人影…!?

はっ



なんなんだろう
この感じ…

…ん?

やあ…



裸…っ

かああ…

イキッ…



カラ
カラ
カラ…

先輩…っ!?



はっ

は

なっ

なんで…っ!?



ああもっ…!

イキッ…



なに

俺と恋人だと
思われたくねえの?

だからって

先輩まで
入る必要ない
ですよね…っ!?

誰かに
見られたら…!

はっ…?
何言ってる
んですか…っ!



入口見て
なかったのか

この貸切
カップル風呂だぞ

なんで
ですか
それ…っ

カップル専用







この声...

あ

ツン...

ツン...



ねーっ!
隣カップル風呂
らしいよーっ!

ヒョギッ

トクッ



もうだめ...

はっ

はっ

あ...



エロいことでも
してたりして♡

うそ...
同じ営業部の
人たち...!?

キョッ

キョッ



クニッ

クニッ

先輩...
まさか...



クニッ

クニッ



隣に営業部の
人たちがいるのに...っ!!

やだ...っ

ヒッ
ヒッ
ヒッ

あーっ



ヒッ
ヒッ
ヒッ

うん...っ

うん...っ



ヒッ
ヒッ
ヒッ

うん...っ

うん...っ



ヒッ

うん...っ

ヒッ

うん...っ

ヒッ



あたま真っ白で...

なんか...
くらくらする...

あれ...視界が...
ぐにやぐにや...
して...



す...杉浦っ!

はたん



あれ...?
わたし...?

お風呂で
のぼせて...

う...ん...?



ほや...

それから...
どうしたん
だっけ...?



え…っ
先輩…っ!?



お姫様
だっこ

かあぁ…

気がついたか



なっ…

ムカー

っ



気が付いて
助かった

この状態で
どうやって
ドア開けるか
悩んでたから

お前思ったより
重たいし







ぜんぶ脱がなくなっても、
エッチはできる(2)

著者 イチノセシヲ

発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

イチノセシヲ

ichinose
sese

エ
ン
チ
ノ
セ
シ
ヲ

は
な
れ
る

ぜ
ん
ぶ
ん

腕

か
な
た
り
で
3



ぜんぶ脱がなくなったら、
エッチはできる

第 3 話





…あの
さつきから黙って…
どうかしたんですか？



先輩：
いつもは騒がしいのに
なんか妙に静かだなあ…



ちよつ…
笑うなよ…！



真剣！

だって
神様に失礼な態度みせたら
願い叶えてもらえないかも
しれないだろ…？



意外と
真面目ですね…

それで？
何お願いしたん
ですか？

今やってるスマホゲームで
欲しいレアカード
引けますようにって



笑いすぎ
だろ…



なにそれ…

ふはっ…



なんか普通に
話せてる…

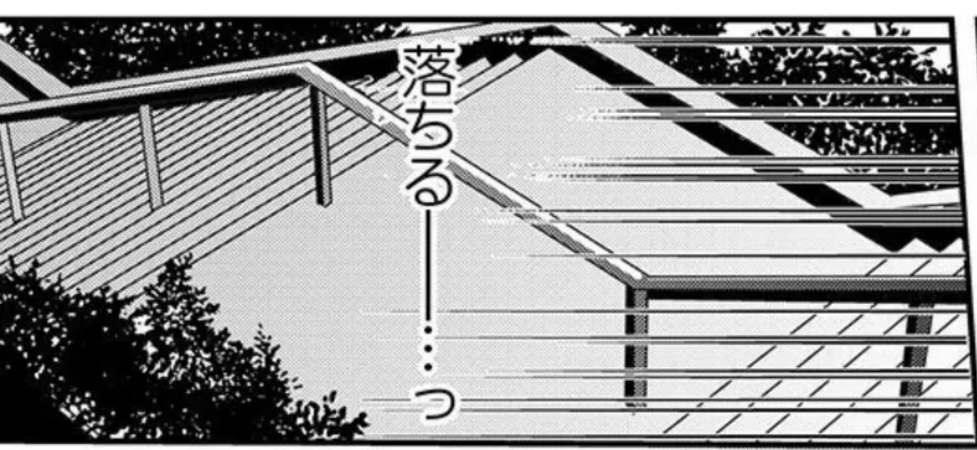


あれ…？
私…



照れてます？

照れてねえよっ





わ…っ先輩の腕の中に…っ



体温が伝わってくる…

クッ…

私…なんでこんなに…



…?

スッ…



どきどきして
るんだらう…

どき

かあ…

あ、大丈夫です…っ
ありがとうございます…

カシヤッ

大丈夫か？
怪我は？

ほッ

どき





女子社員を颯爽と
助ける王子！

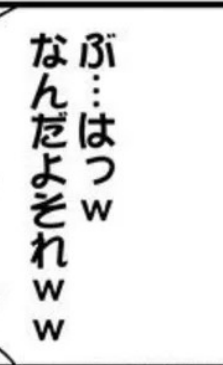


傷が
映っちゃってる

はっ

うそ……
うそ……
うそ……













きっかけを
作ってくれた

先輩の
おかげなので…

…っ！

ヒキキ…



夜に1人で
男の部屋に来るとか

無防備にも
ほどがあるだろ

あのなあ

きゅっ…

カリカリ

っ



襲われに
来たのか?



ち…
ちが…っ



ぬる…
舌…っ



ん…っ!



だの…
また先輩のペースに
流されちゃってる…っ



先輩がこんなことする理由を知りたかったから...



本当は... お礼を言いに来ただけじゃない...



直接、ちやんと聞かなきゃ...っ



—ちょっと待って
—くださいっ...!!





…最初に

責任取るって
言っただろ

ほい

こないだから…
なんで…
こんなこと…っ

からかってる
んですか…?

は！

責任…
って…



先輩に責任取って
もらうほどの価値…

私には…

っ



自分で自分を
傷つけるな

分からせてやる



先輩...

やめ...

は...

ん...

ん

ん

は



ん

ん

ん

ん



俺がどれだけ大事に
思ってるか...







いやいや言いながら濡れやすいトコも

すげえかわいいしな...

ほ...
クス

な...っ

あ...!!
だめ...っ

ほら、もう濡れてる

ぬる...
あ...

くちゅ...
あ...



ほ

見えるか?

自分の
やらしー表情...

ああ...っ

やあ...っ

はま

くっ
くっ
くっ

くっ
くっ
くっ

私...こんな表情して...

ほ...
あ...
あ...



んっ

ぬる...
あ...

あ...

あ...
あ...
あ...

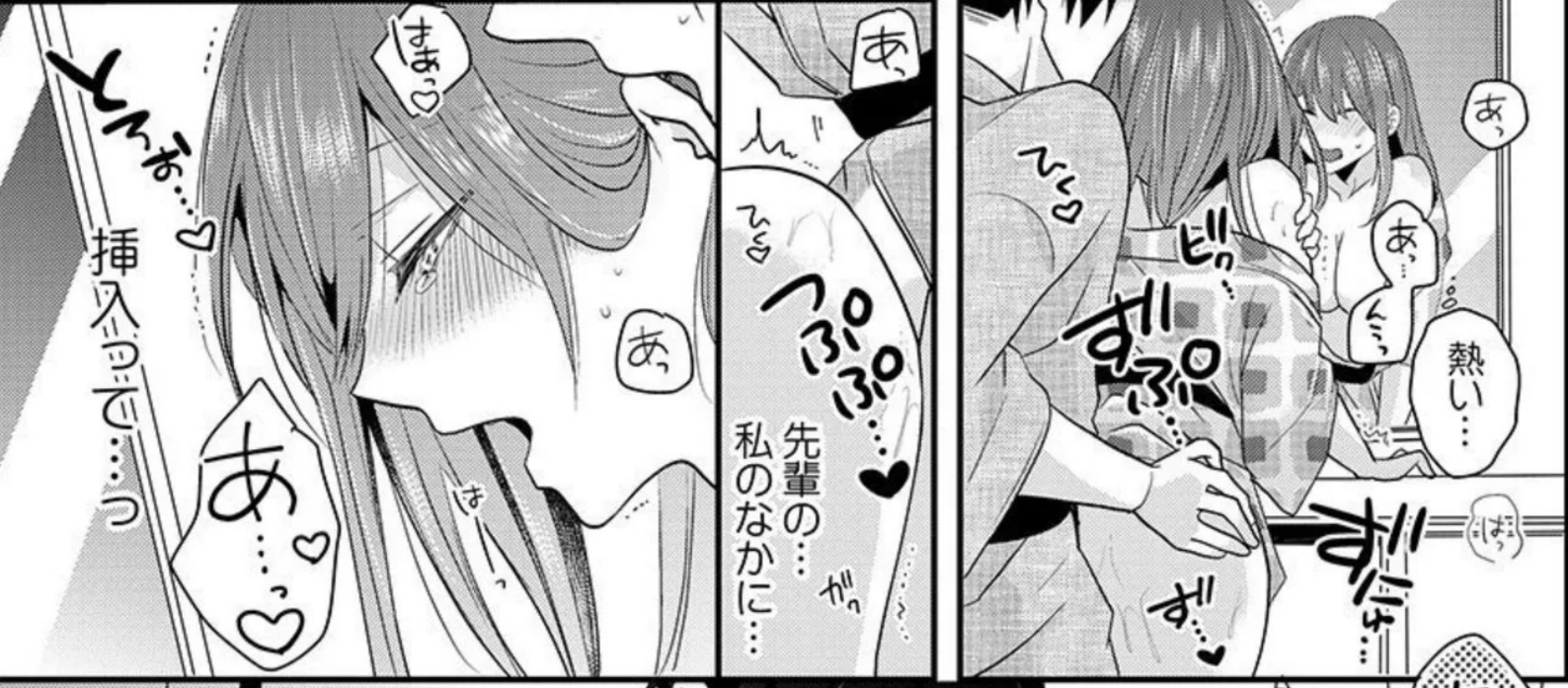
あ...
あ...
あ...





だから
お前は

気持ちよくなる
ことだけ考えてる



挿入っでっ...

先輩の...
私のなかに...

熱い...



全部
入ったぞ

あ...
あ...
あ...

ぜんぶ脱がなくなったら、
エッチはできる(3)

著者 イチノセシヲ
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。